

ジアシルグリセロール (DAG) の舌発がんプロモーション作用試験

国立医薬品食品衛生研究所 病理部長 西川秋佳

(要旨)

4-nitroquinoline 1-oxide (4NQO)誘発舌発がんへの DAG の修飾効果を、SD ラットを用いた二段階発がんモデルで検討した。6 週齢、雄の SD ラット、各群 30 匹に 4NQO を 10 ppm の用量で 10 週間飲水投与し、1 週間の休薬後、11% DAG、5.5% DAG + 5.5% トリアシルグリセロール (TAG)、2.75% DAG + 8.25% TAG、1.38% DAG + 9.62% TAG、11% TAG、11% 高リノール酸 TAG、5.5% DAG ならびに 2.75% DAG をそれぞれ飼料に混じて 24 週間投与した。また、非 4NQO 投与群として蒸留水投与後、11% DAG、11% TAG ならびに 11% 高リノール酸 TAG を同様に投与した。その結果、4NQO 投与群の舌および口腔粘膜に扁平上皮乳頭腫及び扁平上皮癌が認められた。しかし、その発生頻度、個数ともに群間に差はなく、4NQO 舌発がんに対する DAG の明らかなプロモーション作用は認められなかった。

(Food and Chemical Toxicology, 46: 3206-3212, 2008 に論文掲載)